

2015年11月25日

宇部興産機械(上海)有限公司

大型ダイカストマシン シリーズ第2弾 UB1650iV 生産・出荷

宇部興産株式会社
宇部興産機械株式会社

宇部興産グループの宇部興産機械株式会社(本社:山口県宇部市。社長:久次幸夫。以下「宇部興産機械」)は、中国現地法人である宇部興産機械(上海)有限公司(董事長:岡田徳久。以下「宇部興産機械(上海)」)において、大型ダイカストマシン シリーズ第2弾 UB1650iV(型締力 1650 トン)の生産を開始し、11 月末に初号機を出荷いたします。

近年の中国自動車産業は、環境意識の高まりの中、車体の軽量化要求が強まり、エンジンブロックやミッションケース等の精密な鋳造技術を要する大型自動車部品にもアルミダイカスト部品が使用されるようになってきており、高機能な大型ダイカストマシンの需要が急増しています。

宇部興産機械(上海)では、2002 年の設立よりダイカストマシンの生産を開始し、小型(型締力 140～350 トン)機及び中型(型締力 530～850 トン)機を累計で 500 台出荷しています。中国での高機能大型機需要増に短納期で応えるため、2014 年からは型締力 1100 トンの大型ダイカストマシンの生産を開始し、現在は型締力 2250 トンまで製造できる設備を有しています。

今回生産・出荷する UB1650iV は、2014 年 7 月に出荷した型締力 1100 トンに続く大型ダイカストマシン シリーズ第2弾です。現地生産による輸送期間の短縮に加え、中国市場のニーズを集約したベースマシンとオプションの標準化を推進し、納入までのリードタイムを本社工場からの輸入機の約 2/3 に短縮しました。

宇部興産機械では、さらに中国市場ニーズにマッチした高機能・短納期の大型ダイカストマシンの現地生産に注力してまいります。尚、2016 年度の宇部興産機械(上海)の大型ダイカストマシン生産・出荷は、8 台を予定しています。

以上